

「二条城を建てた人びと」について学ぶ ～「寛永行幸四百年祭 寛永文化講座」を2月22日に開催～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、4月に開幕する「寛永行幸四百年祭」の機運醸成のため様々なイベントを実施しています。
- 2月22日に建築の専門家を講師に迎え、寛永行幸を機に大改修が行われた二条城にスポットを当てた文化講座を開催しますので、周知と取材をお願いします。

1 日時

令和8年2月22日（日）14時～16時20分（13時30分開場）

2 場所

京都商工会議所 会議室7-B
（京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター7階）

3 内容

「二条城寛永改修時の諸建造物」

講師：^{いのうえ}井上 ^{としかず}年和（京都美術工芸大学教授）

寛永行幸を前に大規模な改修が行われ、多くの建物が造立された二条城の全体像について紹介いただきます。

「二条城の造営と大工頭中井家」

講師：^{たに}谷 ^{なおき}直樹（大阪市立大学名誉教授）

大改修を指導した中井家伝来の「大工頭中井家関係資料」（重要文化財）から見えてきた二条城の建物の歴史について紹介いただきます。

4 参加方法

専用サイト（Peatix）から申込 ※定員になり次第受付終了
申込期間 令和8年1月28日（水）10時～2月20日（金）

URL：<https://kaneibunka20260222.peatix.com>



5 定員

先着70名（参加無料）

6 取材について

取材を希望される場合は、13時50分までに会場受付へお越しください。

7 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

共催：Living History KYOTO、Living History in 京都・二条城協議会

【参考】

○ 寛永行幸

寛永3年（1626年）9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○ 寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。

○ 文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071

まゆぎろ



寛永
行幸

寛永文化講座

いよいよ寛永行幸四百年祭が4月に開幕いたします！
2024年より、寛永行幸と寛永文化に関するトピックをご紹介します。
「寛永文化講座」も今回からは毎月お届けする予定です。
今回は、建築の専門家をお迎えし、寛永行幸を機に大改修がなされた二条城はどのように建てられたのかなどについて、解説をいただきます。
ご登壇いただくのは大阪市立大学名誉教授で、
2021年まで20年にわたり大阪くらしの今昔館館長を務められた谷直樹氏と、
京都美術工芸大学教授の井上年和氏。井上氏は学生の卒業制作にて
寛永行幸時の二条城の建造物をテーマに取り上げるなどしておられます。
天皇を迎えるためになされた二条城の大改修に、どのような人が関わり、
どのように行われたのか。その内幕に迫ります。

2026年
2月22日(日)

14:00より(13:30開場)

14:00 寛永行幸四百年祭ご紹介
14:10 井上年和氏講演
14:40 休憩 10分
14:50 谷直樹氏講演
16:20 終了予定

参加費：無 料

会場：京都商工会議所 7-B
京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター 7階
(地下鉄「四条」駅、阪急京都線「烏丸」駅26番出口直結)

定員：70名程度(先着順)

申し込み先：Peatix

<本イベントに関するお問い合わせ>
info@kaneigyoko400.jp
TEL.080-9923-4252
(実行委員会事務局 土日祝除く 10:00~16:00)

お申し込みは
こちら



提供：京都市元離宮二条城事務所

第8回

二条城を建てた人びと

「二条城寛永改修時の諸建造物」

講師 井上 年和(京都美術工芸大学教授)

寛永行幸を前に大規模な改修が行われ、
多くの建物が造営された二条城。その全体像について紹介する。

井上 年和氏 プロフィール

京都美術工芸大学教授。京都大学大学院工学研究科修了。
一般財団法人建築研究協会研究員、京都美術工芸大学工芸学部准教授を経て現職。
京都景観賞建築部門優秀賞、日本建築学会教育賞(教育貢献)受賞。

「二条城の造営と大工頭中井家」

講師 谷 直樹(大阪市立大学名誉教授)

二条城の建物は大工頭の中井家が造営を担当した。
初代の中井正清は慶長度の創建建物を、2代の中井正
侶は寛永度の改修をそれぞれ指導した。今回は、中
井家伝来の「大工頭中井家関係資料」(重要文化財)
から見てきた二条城の建物の歴史を紹介したい。



中井正清像
(長香寺蔵)

谷 直樹氏 プロフィール

大阪市立大学名誉教授。京都大学大学院工学研究科修了。京都大学工学博士。
専門は日本建築史、博物館学。著書に『中井家大工支配の研究』(思文閣出版、1992)、
『大工頭中井家建築指図集』(編著、思文閣出版、2003)など。建築史学会元会長。
大阪くらしの今昔館の設立に関わり、2001年の開館から20年間館長を務め、
中井家資料の保存修理に携わった。

寛永文化講座とは？

2026年は、寛永3年(1626年)に後水尾天皇が二条城に行幸されてから400年の節目の
年です。寛永時代は能、狂言、茶の湯といった文化が隆盛し、市中にいくつもの「サロン」
が形成されました。このサロンを舞台に文化が洗練され、多くの人々をひきつけ、現代へ
とつながることから「寛永は文化の故郷」といわれています。「寛永文化講座」は、この時
代に花開いた文化の特質をさまざまなジャンルの専門家に語っていただき、多角的な視
点から寛永文化の総合性や現代における意義を考えていこうというものです。

絵：「二条城行幸図屏風」部分 江戸時代(京都市指定文化財 泉屋博古館蔵)

「寛永行幸四百年祭」を応援したい！

実行委員会では、寄付などを募集しています。
皆さんも歴史に参加しませんか。

詳細はこちら

基金で応援

京都文化交流コンベンションビューロー
「寛永1626基金」で
寄付を募集しています。

ふるさと納税で応援

京都府の
企業版ふるさと納税による
寄付を募集しています。

連携・認定事業で参加

「寛永」をテーマにした独自事業や関連行事を
実施していただける企業・団体を募集しています。
お問合せ：info@kaneigyoko400.jp



主催 寛永行幸四百年祭実行委員会
(文化庁連携プラットフォーム内)
https://kaneigyoko400.jp/

共催 Living History KYOTO
Living History in 京都・二条城協議会



公式 HP



FACEBOOK



Instagram



X

最新情報は公式HP・SNSでチェック！